

秩父鉄道株式会社 安全報告書 2026



1. 経営責任者からのメッセージ
2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標
3. 安全管理体制と方法
4. 輸送の安全への取り組み
5. 安全確保のための教育・訓練
6. 鉄道事故等に関するご報告
7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

1. 経営責任者からのメッセージ

「安全報告書2026」の公表にあたって

日頃より、秩父鉄道をご利用いただき誠にありがとうございます。安全報告書 2026 の公表にあたり、ご挨拶を申し上げます。

当社は安全を最優先とした体制を強化し、責任事故とインシデントゼロを目指しています。おかげさまをもちまして、2022 年 10 月 1 日以降「運転無事故」を継続してまいりました。今後も、公共交通機関として「安全・安心・安定」を継続する責務を負い、輸送の安全確保と無事故無災害の達成に向け、全役員・全従業員が安全を最優先に日々の業務に取り組んでいくとともに、設備投資・訓練・研修などハード、ソフト両面における取り組みを更に強化してまいりますので、引き続き、皆様方のご愛顧をいただきますよう宜しくお願いいたします。

当社沿線の人口が減り続ける中、2025 年度は 7 月に宝登山山頂に SUSABINO テラスを開設、8 月に SL パレオエクスプレスが 1988 年の運行開始後、初めて行田市に乗り入れ、多くの皆様にご乗車いただきました。また、体験型イベントの開催など積極的な旅客誘致に取り組み 3 年連続での黒字達成となりました。

輸送の安全性向上につきましては、広瀬川原駅連動装置の更新工事（第 2 期）、八高線乗り越し橋梁枕木の更换工事、踏切道拡幅工事等を実施し、第 4 種踏切道対策については、2024 年 4 月 25 日公表の「第 4 種踏切道対策について」に基づき、道路管理者との協議を進め 2025 年度は 5 箇所を廃止し、「第 4 種踏切」は 75 箇所となりました。また、追加施策として直前横断防止を目的とした、簡易遮断機を 7 箇所設置いたしました。今年度も、引き続き 14 箇所に追加設置を予定しております。今後も、事故防止に向けて安全対策を進めてまいります。

この安全報告書は、鉄道事業法第 19 条の 4 の規定に基づき、2025 年度における取り組みや輸送の実態を中心に皆様にご紹介しております。ぜひご一読いただき、皆様の声を、今後より一層の安全向上に役立てるため、ご意見とご感想をお聞かせいただければ幸いです。



秩父鉄道株式会社
代表取締役社長 牧野英伸

2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標

(1) 安全に関する基本方針

安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに「安全・安心・安定輸送」を提供するため、「安全基本方針」を定め、「安全行動規範」は社員等の安全に関する基本行動として徹底しております。

「安全基本方針」

- ① 「安全最優先」が鉄道事業の最大かつ最重要の根幹であることを認識し、一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令、規程を遵守し、誠実に職務を遂行します。
- ③ 安全管理体制を適正に運用し、維持・向上に努めます。

「安全行動規範」

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 安全目標

さまざまな安全性向上施策に取り組むため「安全基本方針」「安全行動規範」を遵守し、社内に安全風土、安全文化を構築、確立し、安全最優先の原則を遵守します。

“スローガン”

安全を最優先し、「責任事故0・インシデント0」の完遂

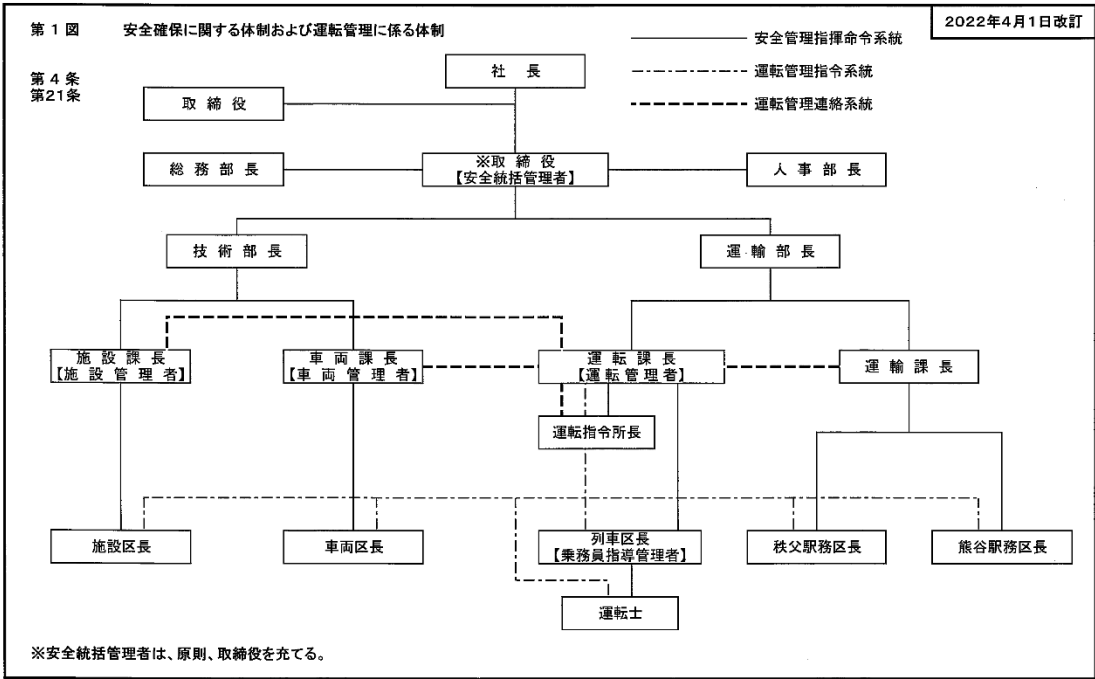
3. 安全管理体制と方法

(1) 安全管理体制

2006 年 10 月 1 日に制定された「秩父鉄道 安全管理規程」では、社長を最高責任者とし、社長が選任した安全統括管理者のもと、安全推進の管理体制を確立し、各管理者の役割と権限を明確に定めております。

役 職	役 割
社 長	安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するための最終的な責任を負う。
安 全 統 括 管 理 者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
技 術 部 長	安全統括管理者の下、施設、車両に関する業務を統括する。
運 輸 部 長	安全統括管理者の下、運転に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総 務 部 長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務に関する事項を統括する。
人 事 部 長	輸送の安全の確保に必要な人事に関する事項を統括する。

(組 織 図)



① 運転事故防止対策委員会

輸送の安全確保を目的として、安全統括管理者を委員長とする「運転事故防止対策委員会」を毎月 1 回開催しています。この委員会では、事故、災害等が発生した際の対応と処置の検証、ヒヤリハット報告事案の分析、事故防止に関する事項の議論、再発防止策の立案と決定を行っています。



② 職場巡視

社長、役員、各部課長は、夏季運転無事故運動や年末年始輸送安全総点検の期間中に各職場を訪問し、安全に関する取り組みや創意工夫について各所属員と直接対話を行います。これにより、安全性の向上と一人ひとりの安全意識の高揚を図っています。



夏季運転無事故運動



年末年始輸送安全総点検

③ 内部監査

鉄道輸送における安全管理体制が構築され、適切に運用し継続的に機能していることを確認するため定期的に実施しております。

2025 年度の社長（経営トップ）へのインタビューでは、安全を最優先とした事業体制の強化を進めていくうえで、最優先とすべく課題に具体的な指示により対処していく考えと、課題への理解度を向上させるため期限を掲げ計画的に対応していきたいという考えを確認いたしました。

安全統括管理者へのインタビューでは、自然災害や事故等において必要に応じ報告を行うと共に、安全最優先による処置を行うよう指示し状況や事象について詳細に報告を行

っていることを確認し、現場とのコミュニケーションを図り安全活動における不足部分を克服
するべく取組んでいくことを確認いたしました。

④ ヒヤリハット深度化会議

運輸安全マネジメント評価の期待事項の一つであるヒヤリハットの深度化について
2025 年 5 月より年間 4 回、各職場長が集まり収集した事案に対して背後要因を含め多
角的な原因分析と対策を取りまとめ、職場間での情報共有と深度化の促進を図ってまいり
ます。



ヒヤリハット深度化会議



安全対策後の駅構内通路保安

4. 輸送の安全への取り組み

2025 年度も列車運行の安全確保・維持と改善および旅客サービスの向上を目指し、安全
対策や修繕工事を実施しました。これらのうち主な取り組みについてご紹介いたします。

安全重点施策

2025 年度の安全対策工事と主な修繕費

安全対策更新工事	425, 792 千円
主な線路修繕工事	160, 190 千円
主な電気修繕工事	30, 823 千円
主な車両修繕工事	14, 792 千円
計	631, 497 千円



皆野 No.1 踏切道 KG 化工事

(1) 2025 年度の安全対策工事

施設・車両関係

①広瀬川原駅連動装置更新（第二期）

②7500 系車両用主電動機絶縁更新工事（8 台）



①広瀬川原駅連動装置更新（第二期）



②主電動機絶縁更新工事

③並・分岐・橋・継目枕木更換

軌道の強化を目的として P C 化を推進し、軌間拡大や軌条のふく進、軌道変位を防止し、安全性を長期にわたって維持するため、経年劣化した並枕木、分岐枕木、橋枕木、継目枕木 1013 丁の交換と道床砂利補充 845 t を実施しました。



④第 4 種踏切道 簡易遮断機
第 4 種踏切道 簡易遮断機設置箇所

行田市 NO2・大麻生 NO2・永田 NO2・寄居 NO27・長瀬 NO2・親鼻 NO1・大野原 NO8 踏切、合計 7 箇所設置いたしました。



⑤架線の張替

摩耗や経年劣化が進んだ吊架線 271mの張り替えを実施しました。

5. 安全確保のための教育・訓練

(1) 現業職場における各種訓練

夏季運転無事故運動や年末年始輸送安全総点検などの期間中には、異常時を想定した訓練を実施しています。また、乗務員に対しては屋根上作業教習や経過年教習を実施し、施設や車両関係の係員には鉄道技術講座の受講や他事業者へ出向いての講習会などを通じて、知識の向上を図っています。



閉そく方式変更訓練（駅務区）



転てつ器調整訓練（施設区）



異常時(列車防護)訓練（駅務区）



連結訓練作業教習（列車区）



単独乗務1年経過教習（列車区）



単独乗務3年経過教習（列車区）

（２）護身術講習会

近年、列車内で旅客を狙った刃物傷害事件が発生しており、弊社では、2022年度から不審者対応訓練を実施しており、2025年度は3月17日に秩父鉄道本社にて秩父警察署主催のもと護身術講習会を実施しました。

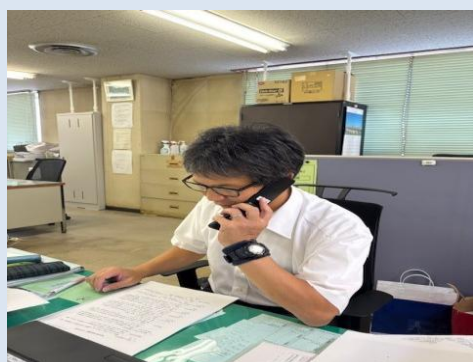
護身術訓練は、力で相手をねじ伏せるのではなく、誰でも実践できる合理的な身体操作や反射動作の練習や相手を倒すことよりも「危険をいち早く察知して逃げること」・実戦的な動きや基礎体力作りから、状況判断や脱出技術までを総合的に鍛えること等を学びました。



不審者対応訓練

（３）防災訓練

毎年9月1日の防災の日や防災週間には、大規模な地震が発生した際を想定して、旅客列車の運転を一斉に停止させ、関係各所に確実な情報を伝達し、震度階の判明に基づく列車減速運転や、橋梁・法面などの施設・設備点検が安全に行えるよう訓練を実施しています。2025年度は、九都県市防災訓練のスケジュールに合わせて9月に実施しました。



情報伝達訓練



施設・設備点検

6. 鉄道事故等に関するご報告

2025年度の「鉄道運転事故」「輸送障害」「インシデント」発生件数は、以下のとおりです。

「鉄道運転事故」 3件（踏切障害事故）

列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故をいいます。（自殺と思われるものは、鉄道運転事故に含まれません。）

「輸送障害」 13件（うち自然災害その他1件）

列車の運転を休止したもののまたは30分以上の遅延を生じたものをいいます。

「インシデント」 0件

運転事故が発生する恐れがあると認められた事態をいいます。

7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

（1）踏切事故防止啓発

踏切事故は、自動車等による遮断桿が下りる間際の横断、無謀通行、運転操作の誤りなど、道路通行者に起因するものが大半を占めております。そのため、当社では年2回、全国交通安全運動の期間中に、鉄道警察隊と合同で持田NO.25踏切にて「踏切事故防止啓発活動」を実施しました。



春の全国交通安全運動



秋の全国交通安全運動

（2）サービス介助士資格の取得

社会の高齢化が進む中、多くのお客様に対して安心して鉄道をご利用いただけるよう、職員のサービス介助士資格の取得を推進しております。2025年度までに、駅係員、列車乗務員、その他職域を含む104名が資格を取得しております。

(3) AED の設置

お客様の急病等万一の事態に備え、羽生、熊谷、明戸、武川、永田、ふかや花園、小前田、寄居、長瀬、秩父、御花畑駅に AED（自動体外式除細動器）を設置しております。

また、駅係員や列車乗務員など鉄道事業に係る社員は消防署のご協力のもと、普通救命講習を定期的に受講しております。



(4) こども 110 番の駅

鉄道を利用して通学や学習塾などに通うお子さまを危険から守り、より一層安心して駅を利用していただく環境作りと地域への貢献を目的として「こども 110 番の駅」の取り組みに羽生、熊谷、武川、寄居、長瀬、秩父、御花畑、影森、三峰口の 9 駅にて参加しております。



(5) 埼玉県防犯のまちづくりに関して

「埼玉県防犯のまちづくりに関する協定」に基づき、こどもや高齢者等を犯罪から守るための見張り活動、犯罪や不審者認知時の積極的な 110 番通報等について更なる協力を行うために次の取り組みを宣言しております。

◇駅（事業所）に助けを求めてきた場合に保護、110 番通報等の対応を行います。

◇社用車を運転中に犯罪を認知した場合に 110 番通報等の対応を行います。



秩父鉄道路線概要図

営業キロ
 秩父本線 羽生～三峰口駅間 71.7km
 三ヶ尻線 三ヶ尻～武川駅間 3.7km
 } 75.4km

高崎
 JR高崎線
 上越新幹線
 JR八高線
 宇都宮線
 三ヶ尻
 JR高崎線
 武川
 明戸
 大森生
 広瀬川原
 ひろせ野鳥の森
 石原
 上熊谷
 熊谷
 至池袋
 至上野
 至東京
 東武伊勢崎線
 羽生
 西羽生
 新郷
 武州荒木
 東行田
 行田市
 持田
 ソンビ山公園
 武州中川
 浦山口
 影森
 御花畑
 秩父
 大野原
 武州原谷
 和銅黒谷
 皆野
 観鼻
 上長瀬
 長瀬
 野上
 樋口
 波久礼
 寄居
 小前田
 ふかや花園
 永田
 三峰口
 白久
 武州日野
 三峰口
 西武秩父
 西武秩父線
 至池袋

秩父本線(旅客駅)
 秩父本線(貨物駅)
 三ヶ尻線(貨物駅)
 他社線(在来線)
 他社線(新幹線)

次回作成の参考といたく、お寄せくだされば幸いです。

☎ 048-523-3871

<https://www.chichibu-railway.co.jp/>